

## 【 設問アプローチ 】

[ 20 - A ]

問1 : ① [設問チェック + アプローチ] 「語句の本文中における意味の説明」を答える問題のため、『語句問題アプローチ』の手順で解答する。

→ 『語句問題アプローチ』とは、語句知識と本文読解による文脈での語句の使われ方から、本文中での語句の意味を把握し、選択肢を吟味する方法のこと！

② [本文読解] 本文読解中に、文脈から本文中での語句の意味を推測し、語句の近くにメモする。

→ 文脈での《根拠》は、

- ・ a … 3行目の「危地を脱した、という、とりあえずの安堵感」
- ・ b … 傍線部直前の「軽い寝息が、静かな調和を」
- ・ c … 70行目の「小さな魚体を」、「遡って行く」

③ [判断基準] 設問読解の際に、語句知識と本文中のメモをもとにして、選択肢を吟味する。

問2 : ① [設問チェック] 設問文から答えを導くために押さえておくべきポイントを確認する。

(1) 「その」 … 指示内容の把握。

(2) 「連想」 … 「連想」とは、何か(A)の考えが何か(B)の考えに結びついたということ。

→ 本文中から、A・Bの内容をそれぞれ明らかにする。

(3) 「悲しませた」 … 傍線部中でポイントとなる心情。

→ 小説問題読解のルールとして、傍線部中に〈心情〉や〈描写〉がある時には、その内容や原因などを明らかにする。

(4) 「なぜ」と尋ねられているので、傍線部について「理由」を説明している部分を探す。

② [本文読解] ①を踏まえて、本文から《根拠》を見つける。

→ 本文読解中のチェックを中心に、内容を確認する。

③ [判断基準] ①, ②から、選択肢文を吟味する。

(1) 「連想」のA・Bの内容説明があるか。

(2) 言い換えの可能性も含めて、「悲しませた」の本文での内容説明を正しくしているか。

(3) 傍線部について、「理由」が説明されているか。

→ (1) ~ (3)のすべて、もしくはいずれかを正しく説明しているかで正誤判断する。

問3 : ① [設問チェック] 設問文で尋ねられているのは、『「妹」の「絵」に対する「ぼく」の受け止め方』について。 → 本文中で確認する内容。

② [本文読解] 傍線部中でポイントとなる心情の内容説明を、本文中から確認。(誰の〈心情〉なのかも注意)

(1) 「母は素直に感動した」

(2) 「自身もまた解きがたい不安と祈り」

(3) 「(自身も)考えざるを得なかった」

③ [判断基準] ①, ②を踏まえて、適切に内容説明している選択肢を選ぶ。

- 問4 : ①〔設問チェック〕本文全体の内容に関わる問題は、本文を読む前に予め選択肢文のキーワードをチェック。
- ②〔アプローチ〕設問文では、「前半と後半とを説明した…」とあるので、本文読解中に前半と後半それぞれの内容のポイントをメモしておく。
- ③〔本文読解〕本文読解中に、〈心情〉や〈描写〉といった内容のポイントや文構造をチェックしておく。
- ④〔判断基準〕②、③と、①で予めチェックした選択肢文を照らし合わせ、解答となる選択肢を吟味する。